

蔵王山の火山活動解説資料

仙台管区气象台
火山監視・情報センター

蔵王山では、8日に御釜の湖面の一部に白濁が確認されました。また、9月30日から10月9日にかけて火山性微動が3回発生するなど、火山活動の高まりがみられます。今後の活動によっては、御釜及びその周辺では、新たな噴気孔の発生、火山ガスや泥の噴出等の現象も考えられますので、観光や登山で近づく際には十分注意してください。

平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報事項に変更はありません。

活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1～3）

昨日（8日）、山形大学が行った現地調査では、御釜の東側湖面の一部に白濁した部分がみられ、15分後には消滅したことが確認されました。本日（9日）气象台が行った現地調査では、御釜の湖面の変色等はなく、湖水の温度は11度で従来から変化はありませんでした。また、御釜の周辺にも地熱¹⁾は認められませんでした。

遠刈田温泉（山頂の東約15km）及び上山金谷（山頂の西約13km）に設置してある遠望カメラと、刈田岳（御釜の南側約1km）に設置してある火口カメラによる観測では、御釜の状況に特段の変化は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図 4～6）

蔵王山では、昨年（2013年）1月に火山性微動が発生して以降、地震活動がやや活発な状況が続いています。地震の震源は、御釜直下付近の浅いところと推定されます。火山性微動は、2014年8月に3回、9月に2回、10月（9日15時まで）に2回発生するなど、8月以降発生頻度が多い状況となっており、熱水等地下の流体の振動等が原因とされている低周波地震も時々発生しています。

・地殻変動の状況（図 7）

坊平観測点の傾斜計²⁾で、9月30日夕方頃からわずかな東（山側）上がりの傾向がみられています。GNSS³⁾による山体及びその周辺の地殻変動観測に特段の変化はありません。

气象台では火山活動を注意深く監視しています。今後、更なる活動の活発化がみられる場合には、噴火警報等を発表します。

この火山活動解説資料は、仙台管区气象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 23 情使、第 467 号）。

- 1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感知して温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。
- 2) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがあります。
- 3) GNSS（Global Navigation Satellite Systems）とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



図1 蔵王山 御釜の東側湖面で確認された白濁（赤円部分）

- ・山形大学撮影（2014年10月8日15時25分頃）
- ・撮影範囲は概ね図3の赤枠内に対応しています。



図2 蔵王山 御釜の東側湖面の状況（2014年10月9日11時35分頃）

- ・異常は認められませんでした。
- ・湖面の右側に見られる茶色の部分は、水没した岩の一部です。
- ・撮影範囲は概ね図3の赤枠内に対応しています。

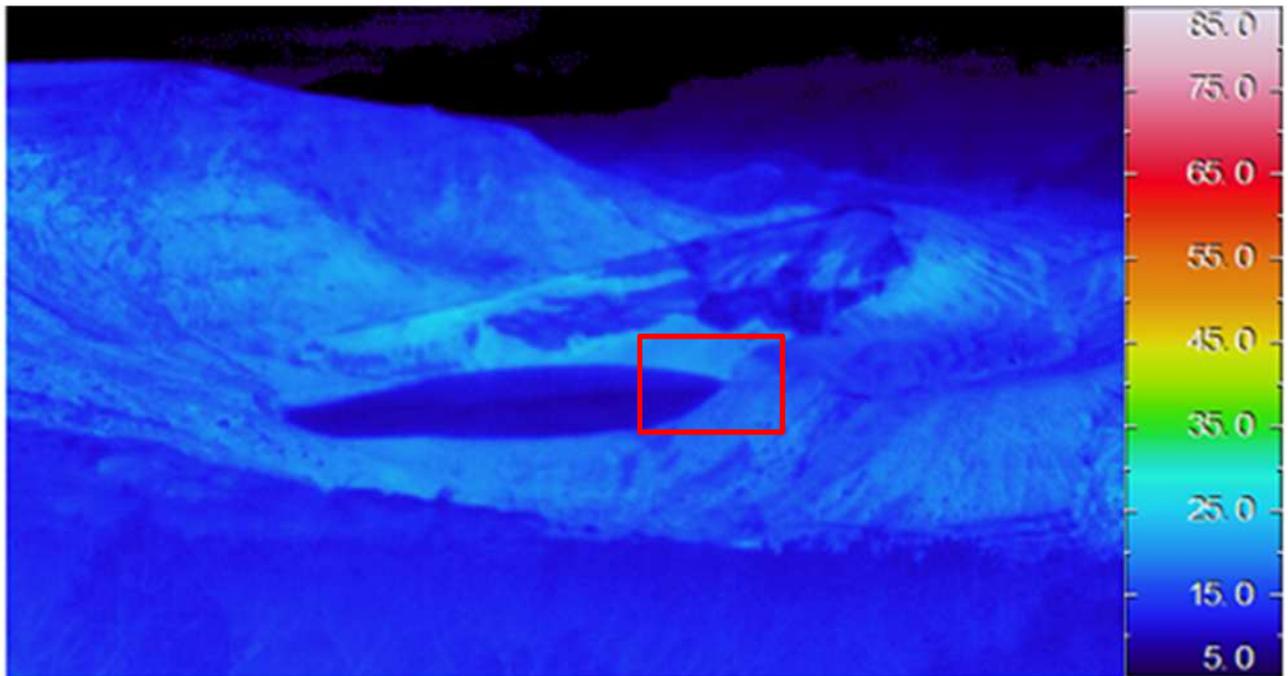


図3 蔵王山 御釜の状況と赤外熱映像(2014年10月9日11時50分頃)

- ・御釜及び周辺に地熱や異常は認められませんでした。
- ・赤枠内は図1, 2の撮影範囲を示します。

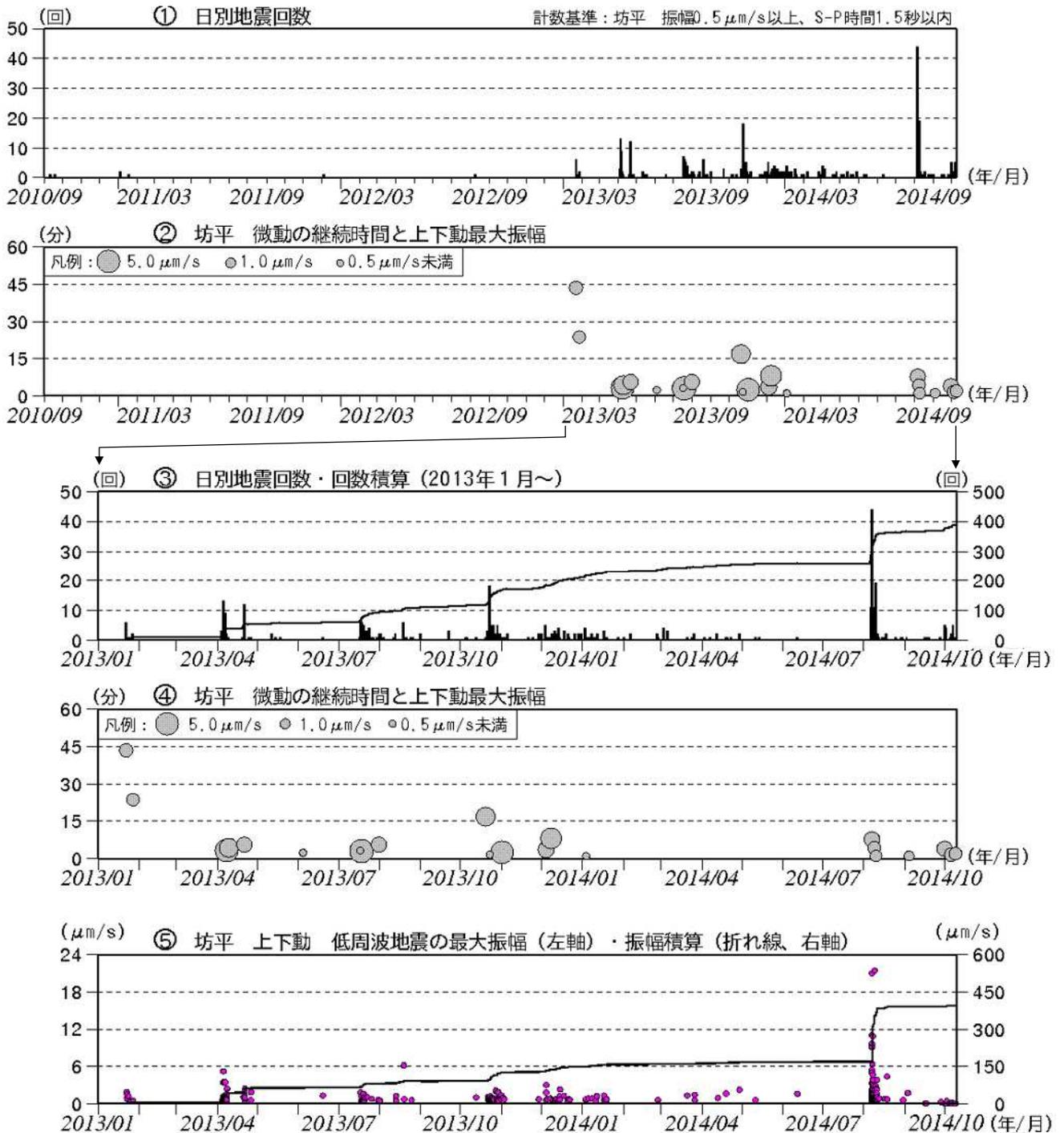


図4 蔵王山 火山活動経過図 (2010年9月～2014年10月9日)

- ・2010年9月1日から観測を開始しました。
- ・回数は速報値で精査後修正される可能性があります。

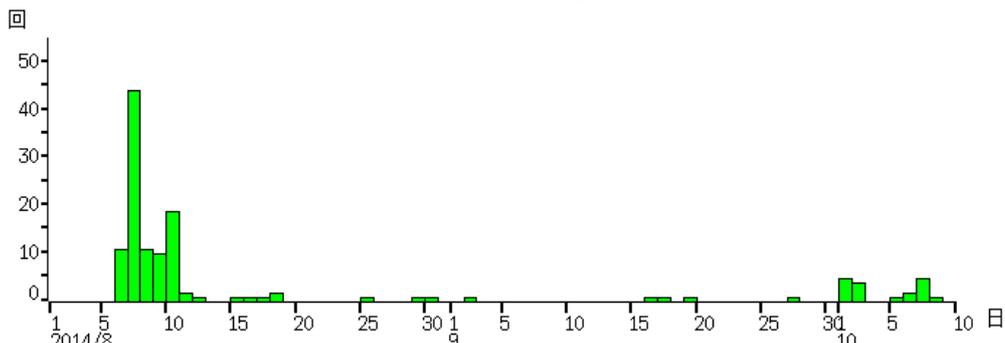


図5 蔵王山 日別地震回数 (2014年8月1日～10月9日)

- ・回数は速報値で精査後修正される可能性があります。

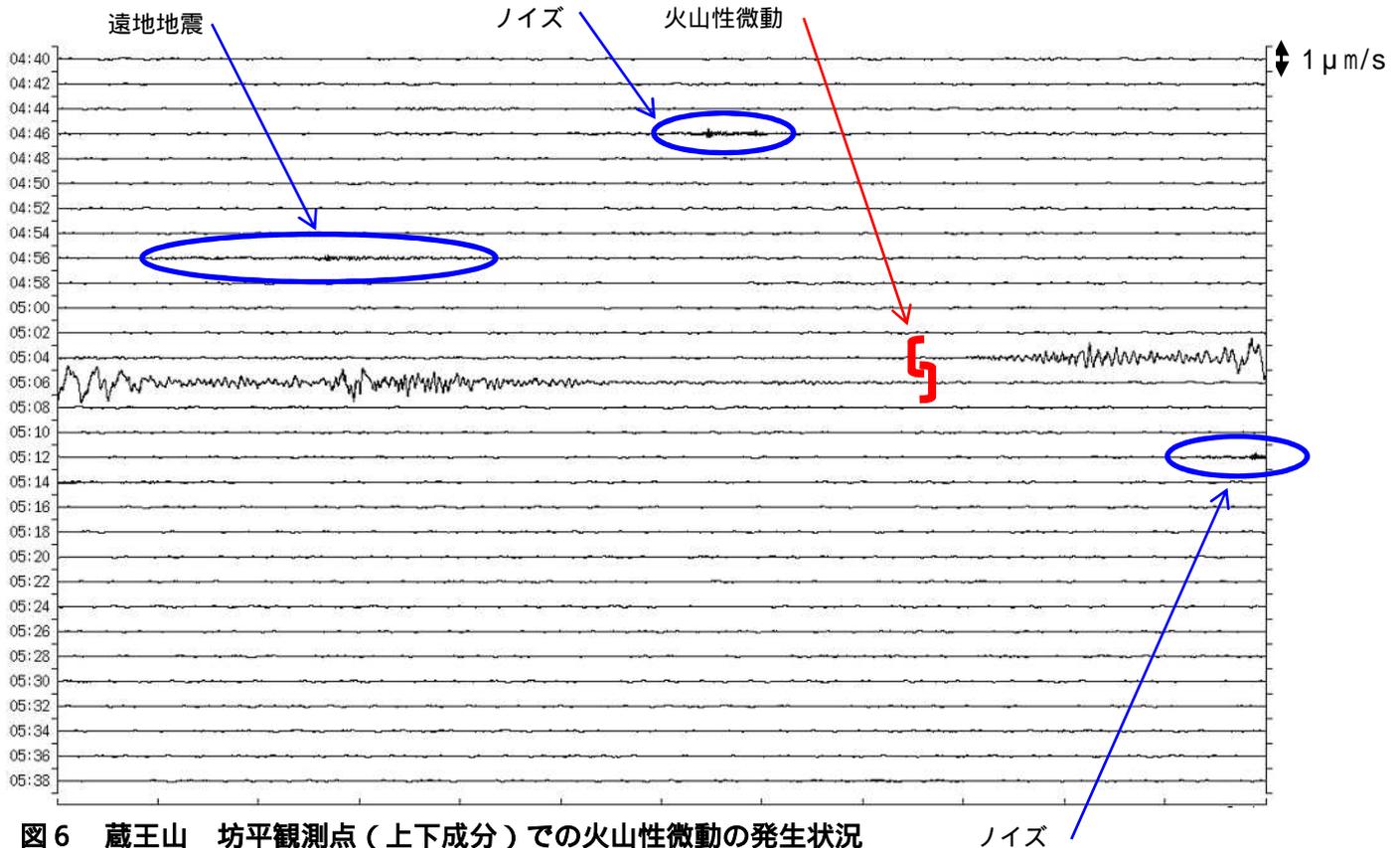


図 6 蔵王山 坊平観測点 (上下成分) での火山性微動の発生状況
 (2014 年 10 月 9 日 04 時 40 分 ~ 05 時 40 分)

・ [] は火山性微動を示します。

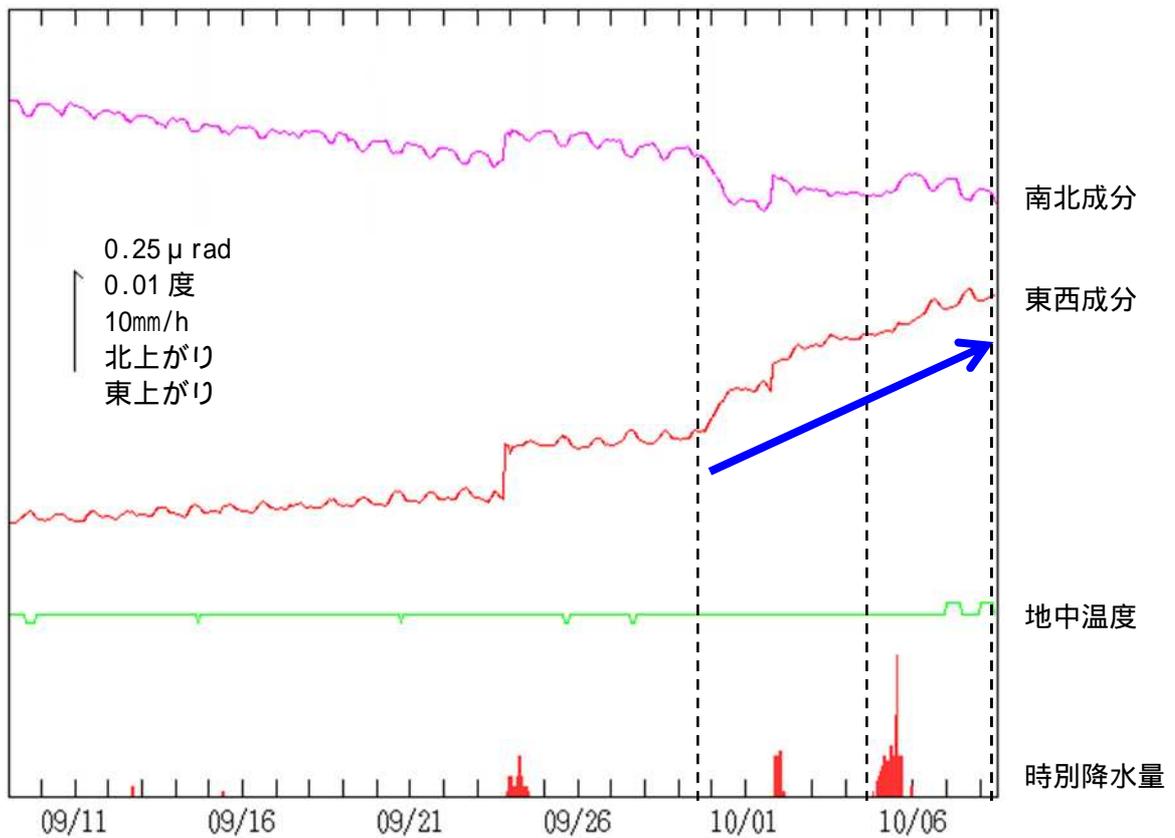


図 7 蔵王山 坊平観測点での傾斜変動 (2014 年 9 月 10 日 ~ 10 月 9 日)

・ 黒破線は火山性微動の発生時を示します。 ・ は傾斜計の変化傾向を示します。

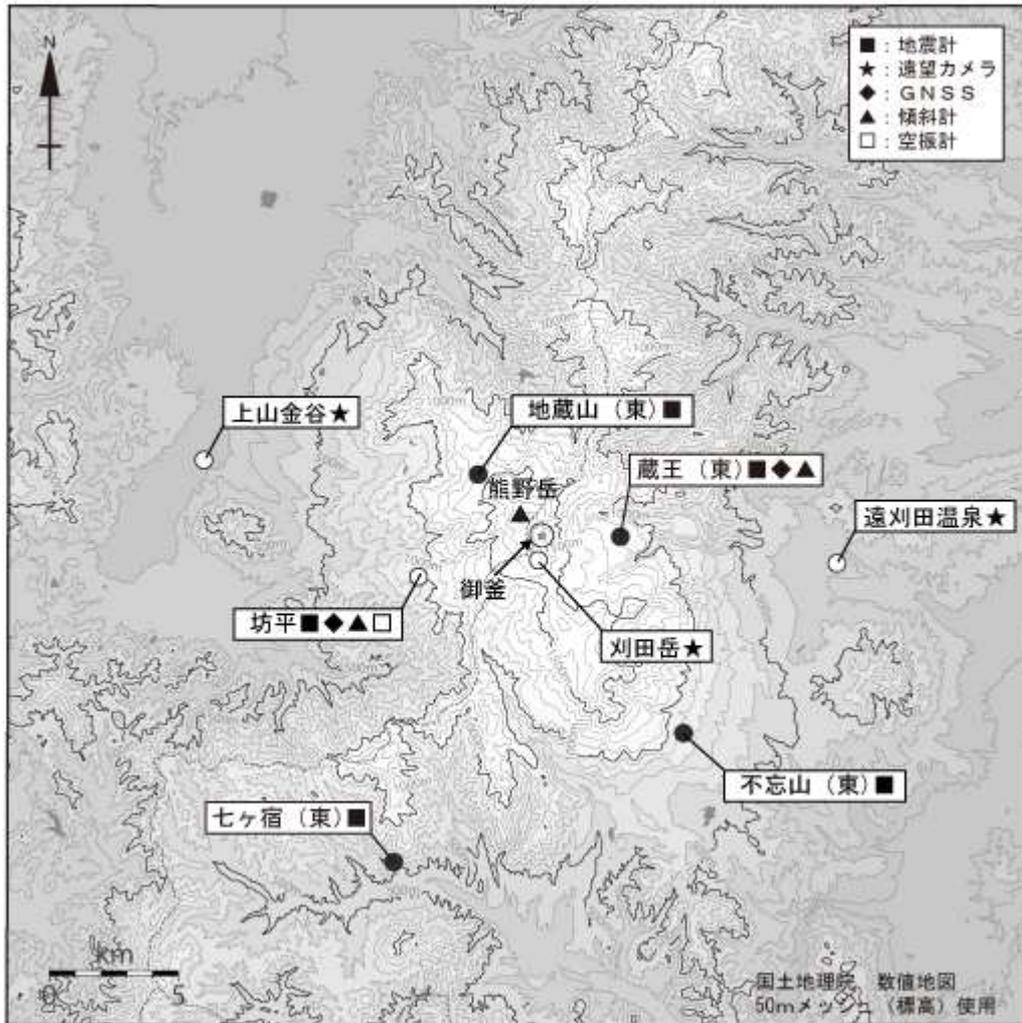


図8 蔵王山 観測点配置図

小さな白丸()は気象庁、小さな黒丸()は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
(東)：東北大学